

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー : キリスト教学入門 ILAS Seminar : Introduction of Christian Studies	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Letters Professor, TSUDA KENJI		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	6 (6)
<b>Target year</b>	Mainly 1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Mon.5
<b>Classroom</b>	Christian Studies Laboratory(L811), 8th floor, Faculty of Letters Main Bldg. (Main Campus)			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	キリスト教 / ギリシア哲学 / 異端				
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>本セミナーは、初期キリスト教の時代において、聖書の「創世記」が古代の人々によってどのように読まれ、解釈されてきたかを分析し、その思想史的展開を辿るものである。</p> <p>「創世記」に書かれた天地万物の創造神話や、最初の人間が造られ、楽園での生活の後、罪を犯して墮落する物語は、西洋の思想や歴史、文学を理解する上でも重要な議論を含んでいる。このセミナーでは、イエスと同時代のユダヤ人、キリスト教最初期の異端的集団であるグノーシス、古代地中海東方および西方の代表的なキリスト教思想家が、この「創世記」の文書をどのように解釈したかをテキストを通して考察する。彼らはこの物語を、ギリシア哲学や様々な文化を用いて理解しようと試みており、場合によっては創造者を不完全な神と捉え、人間を唆した蛇を救済者と見なす思想も見出すであろう。それぞれの時代や思想的背景を授業の中で確認すると共に、キリスト教思想がどのように形成されてきたかを学ぶことが授業の目的である。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
<p>宗教において信仰を抱くことと、哲学のように理性に従って生きることは、古代より異なった方向性や目的をもつものと見なされてきた。ここでは、宗教と哲学、もしくは信仰と理性がどのように初期のキリスト教の中で両立し、また場合によっては発展的な関係性を構築したかを理解することを目標とする。</p>					
<b>[Course schedule and contents]</b>					
第1回	「授業の内容と進め方に関するガイダンス」				
第2回	「創世記の内容と成立背景」				
第3回	「創世記の内容と成立背景」				
第4回	「創世記の内容と成立背景」				
第5回	「ユダヤ人：フィロン『世界の創造』」				
第6回	「ユダヤ人：フィロン『世界の創造』」				
第7回	「異端：グノーシス文書『この世の起源について』」				
第8回	「異端：グノーシス文書『この世の起源について』」				
第9回	「東方教父：オリゲネス『創世記説教』」				
第10回	「東方教父：オリゲネス『創世記説教』」				
第11回	「東方教父：バシレイオス『ヘクサエメロン』」				
第12回	「東方教父：バシレイオス『ヘクサエメロン』」				
Continue to ILASセミナー : キリスト教学入門(2)					

**ILASセミナー : キリスト教学入門(2)**

- 第13回 「西方教父：アウグスティヌス『創世記逐語註解』」  
第14回 「西方教父：アウグスティヌス『創世記逐語註解』」  
第15回 フィードバック

\* 内容の詳細は初回に履修者と相談して決定する。

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

- ・ 授業での議論への参加 (30%)
- ・ 担当箇所についての発表 (70%)

**[Textbooks]**

Not used

教科書は使用せず、適宜テキスト等を配布する。

**[References, etc.]**

(References, etc.)

Introduced during class

関連する参考文献については、適宜授業の中で取り上げる。

**[Study outside of class (preparation and review)]**

予習内容：あらかじめ配付したテキストを読み、質問などを用意する。

復習内容：授業で紹介した文献を読むなどして、次回の授業の理解につなげていく。

**[Other information (office hours, etc.)]**

特になし。